

プロジェクト若ば 第5回開催レポート 「世代間のギャップ、コミュニケーション」



プロジェクト若ば とは？ …若者たちの葉、若者たちの場

市内の39歳までの介護職の方々が、地域の「カイゴのシゴト」をより良いものにするために交流し、学び合い、主体的に活動することを目的としたプロジェクトです。情報共有から、介護業界のイメージアップに関することまで…自由な発想で、地域に新たな風をおこします。本紙では月一回開催している集いの様子を事業所・関係機関の皆さまへお届けします。

2020年最初の若ばレポートです。昨年9月からスタートした本会、今年はさらに活発な取組んでまいりますので、どうぞ宜しくお願い致します。



◀ ちょっと豪華なローストビーフのサラダライスロールは武蔵境駅ビルのお店にて購入。コロッケもあって小腹も十分に満たされました。



ダイジェスト

今回参加したメンバーが所属する事業所(参加者13名)

Dai-job high、北町高齢者センター、シルバーシティ武蔵境、メンバーシップむさししの、ハウスグリーンパーク、ホームヘルプセンター武蔵野 ご参加・ご協力有難うございました！

今回は開催会場が吉祥寺近辺となるため、武蔵野プレイスでの集いは今回で一区切り。場所にも慣れメンバーも徐々に顔なじみが増えてきた5回目…皆さん和やかな雰囲気、始まるまでの時間も軽食をとりつつメンバーと話しながら過ごしていただきました。

人材育成センターからのお知らせ

はじめにセンターより、3月の屋外イベントについて再度お知らせをしました。

人材育成センター 介護職の啓発イベント

日時: **3月21日(土)** 12時~14時

場所: 吉祥寺コピス「吉祥寺デッキ」

対象: 通行する買い物客、市民等

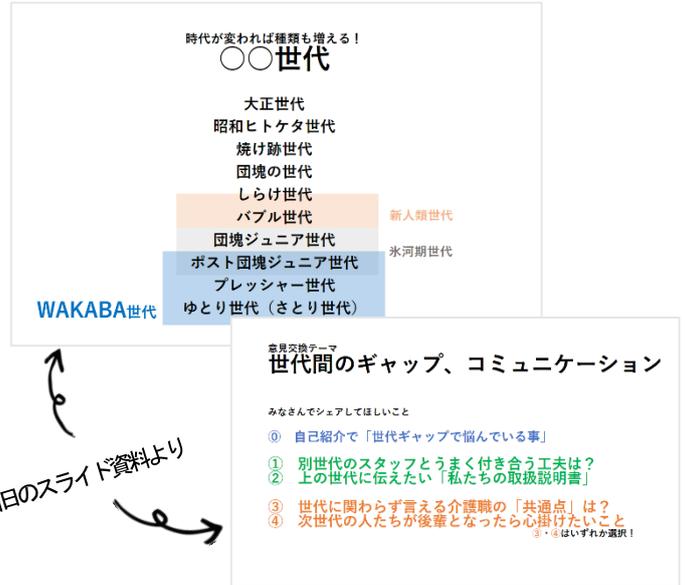
スタッフ: 若ばメンバー、人材育成センター職員、市内事業所職員等

当日は若ばメンバーによる楽器演奏、介護職のPRをする予定です。

(詳細は改めて各事業所へご案内いたします。)

意見交換テーマ

「世代間のギャップ、コミュニケーション」



当日のスライド資料より

介護職は常に様々な世代の方と関わる仕事。何世代も離れた方を支援するなかで、知らない時代の文化や当時の話を伺えることは介護職の魅力でもあります。

当然ながら介護職同士をみても世代は様々。世代、年齢が全てではありませんが、その人たちの世代による価値観、時代の体験は少なからず影響します。また、介護現場の離職率理由 No.1 と言われるのは人間関係やコミュニケーション…ということ、今回は職場における「世代間のギャップ、コミュニケーション」をテーマに意見交換をおこないました。

若ばメンバーだけでも3種類の世代が！

意見交換の前に、大正時代以降の「○○世代」について皆さんと振り返りました。大正世代からはじまり、団塊の世代やしらけ世代、近年のゆとり世代やさとり世代…それぞれ社会的背景、文化的特徴と共に特徴がどう変化するかについて共有しました。

若ばメンバーの年齢要件は「39歳以下」、つまり昭和55年生以降になりますので、世代でいうと「ポスト団塊ジュニア世代」～「ゆとり世代、さとり世代」までが該当します。若手介護職と一言で言っても、その幅は広いのです。

今回は2グループに分かれて話し合いました。はじめに自己紹介と、世代間ギャップに関わるそれぞれの悩みを共有、そこから職場でのコミュニケーションの心がけについて意見交換しました。

世代間のギャップについて考えること

- ・ギャップがあって当たり前、差があって当たり前だとおもう。悩まない。
- ・学生のアルバイトもいる、10代~20代が中心、世代差に悩むというより、助けられることがある。特にデジタル分野では頼りになる。
- ・身だしなみに対する感覚の違いを感じる(ダメージジーンズ、オフショルダー)。
- ・世代差によって分からない話題や単語があるが、勉強になることもある。
- ・芸能人、アイドル、野球…などの話題で世代の違いがあらわれる。
- ・海外諸国に対するイメージ、性別、職業のイメージが世代によって大きく異なる。解消がむずかしいと感じる。
- ・結婚観のずれ。押し付けになってしまう。
- ・休憩時に世代の違う職員同士でコミュニケーションをとる。年が離れた職員から声をかけてもらえると嬉しい。
- ・利用者と1対1でいる時間が多いが、世代がより上のご家族と関わる際は、介護のフォロー、助言をもらうので学びになる。
- ・世代の違う職員へ業務上の指摘するときの気遣い。
- ・コミュニケーションで重視することが異なる。
- ・それぞれの介護職のイメージが違う(家政婦、3Kの仕事、つらい仕事、介護技術の意識)。

意見交換のはじめ、どちらのグループも共通して「世代によって価値観にギャップがあるのは当たり前」という話題に。それを理解したうえで、日ごろどのような場面で世代の違いを感じるか、コミュニケーションで心がけていることはあるか、とポジティブに意見を出し合っていました。

「若ば世代」の特徴は！？

3つの世代を横断する、「若ば世代」。もし私たちに「取扱説明書」をつけるとしたらどんな言葉がいい？と意見を出し合ってみました。

若ば世代はどんな世代？

- ・「ジャンプ黄金世代！」(漫画やアニメで世代を説明)
- ・ジェンダー(LGBT)についてはより教育を受けている。学校の授業の中でビデオをみるなどして学んだ。上の世代より身近なものに感じている、仲間同士でもオープンな雰囲気。
- ・男女の役割分担の捉え方・・・共働きはあたりまえ。男だから、女だから、という考えにとらわれない。
- ・阿吽の呼吸が上手ではない。業務内容などは「わかるでしょ」ではなく具体的に確認したい。

話し合いの中では、世代の特徴を意識しつつも、「世代問わず、その人個人との付き合いを意識している」という意見がありました。…あくまで世代は一つの目安、実際には

その世代だからと決めつけずに個々に関わる重要さについても再確認しました。また、「誰だって嫌な気持ちはしたくない」というコメントも。今回はあえて世代差をテーマにしましたが、世代や性別、職業にとらわれず、やわらかな人間関係を築きたいものです。

次世代の介護職とのコミュニケーションについて

- ・「これをやって」という指示だけでは不足。なぜそうするのか、なぜやったかをうまく教えられるようにしたい。
- ・次世代にあった方法で学習できるように。
例) 部屋で研修をするのではなく、YouTubeで講義を発信。また、介護職以外にも認知度を広げるため、うまくコンテンツをつかって発信する。
- ・できないことは誰にだってある。一緒にやっ払いこう、というような声かけ。上の世代から積極的に声をかけたい。

世代を越え、介護職に共通して言えること

- ・対人コミュニケーションのスキル、人と関わる意欲があるとおもう。
- ・現場には「優しい人」が多い。→優しいとは何か、とも思う。自分も大事、自分を優先することが「優しくない」ではない。
- ・「優しい」と思われたい人が多いのでは？
- ・「人の役に立っている」と感じやすい業界で、承認欲求は満たしやすい。
- ・優しさとは、相手を理解する事ではないか。
- ・世代関係なく、ときには厳しく言えることも必要。

自分たちが感じていること活かして

感想では「今回の意見交換ではじめて世代についてじっくり考えた」というメンバーもいました。今後はさらに私たちができることについて考えていきたいです。

若ばも近い将来、さらに若い世代のメンバーが加わります。その際には温かく迎え、メンバーそれぞれが充実した時間になるよう、事務局も一緒になって取り組んでいきます。

次回の若ば

第6回 **2月10日(月) 19:00-20:30**

@**武蔵野商工会議所** 第1・第2会議室

● **意見交換**

「**介護技術・ケアの工夫やストレス対処について**」

職場での研修、技術向上の取り組みや、ケアのストレス対処方法について、自由に話し合います。

● **人材育成センターお仕事フェア** ● **情報提供**

★単発での参加も可能です！

参加希望の方は申込用紙またはお電話よりお申込みください。

【本プロジェクトに関するご質問・ご意見はこちらまで】

武蔵野市地域包括ケア人材育成センター
TEL 0422-20-3741 FAX 0422-23-1164

Follow Me!>  @m_jinzai